

体協だよりひの



一般社団法人日野市体育協会 TEL 042 (582) 5770 FAX

〒191-0011 東京都日野市日野本町7-12-1 市民陸上競技場内

都民大会 ボウリング競技女子優勝 女子総合7位

第75回都民体育大会は夏季、冬季、春季に分けて、昨年の10月から今年の6月まで、正式競技男子23種目、女子14種目で行われました。(水泳、スキー、駅伝は中止)
今年度は54地区から参加、日野市選手団は日頃の練習の成果を発揮し、近年にない良い成績を収めました。
男子は、軟式野球3位、陸上競技5位、弓道と馬術は8位でした。
女子は、ボウリング優勝、ゴルフ3位、陸上競技4位、テニス5位で、女子総合7位になりました。移行競技の女子空手道も準優勝でした。
閉会式は6月18日に都庁の都民ホールで行われ、女子総合7位の表彰状を受賞しました。
ボウリング競技は5月22日に東大和グランドボウルで行われました。
女子チームは中島監督兼選手を中心に鈴木さん、山下さん、3名が出場し、14チームで競いました。
12ゲームの合計得点で順位付けをするルールで、トータル2,492点のハイスコアで、見事優勝に輝きました。体協からは規定によりお祝いを贈呈しました。
ボウリング女子は体協未加盟時の令和元年にも優勝しており、その後2年間大会が中止されていたため、今年度は連続優勝となりました。
体協加盟2年目での快挙です。引き続き期待したいと思います。(事務局)



第60回 日野市民体育大会総合開会式



去る4月24日(日)第60回日野市民体育大会総合開会式が市民の森ふれあいホールで開催されました。今年は規模を縮小し選手の入場行進などは行わず、日野市体育協会加盟31団体より各3名の選手が距離を置いて椅子に座るという形式で行いました。
午前10時、伊藤副会長の開会宣言で2年ぶりの開会式が始まりました。
先ず大坪大会会長、中澤体育協会会長、日野市教育委員会堀川教育長にご挨拶をいただき、来賓の古賀日野市議会議長よりご祝辞をいただきました。
その後、選手を代表して陸上競技協会の山内さくら選手が選手宣誓を行いました。
最後に岩澤副会長の閉会宣言で総合開会式は無事終了いたしました。
当日は会場に日野市役所で実施している「ウクライナ支援募金箱」を置き、35,867円の寄付金が集まりました。皆様ご協力ありがとうございました。(大倉)

令和4年度(2022) 第60回市民体育大会

*新型コロナウイルス感染防止対策等により大会が中止になる可能性があります。 *雨天予備日

2022/7/2現在

競技大会名	大会開催日(予定)	会場 G=グラウンド	対象	広報掲載号
水泳	8/28	市民プール	小・中・一般	受付終了
軟式野球	9/4~毎週日曜日	多摩川G	一般	受付終了
サッカー	9/5~12/12	市民陸上競技場・浅川スポーツ公園G・北川原公園G	小・中・一般・社年・シニア・少女・女子・レディース	受付終了
ダンススポーツ	9/10	市民の森ふれあいホール	一般	8月号
ボウリング	9/11	SAPボウル	一般	8月号
陸上競技	9/25 *10/2	日野市民陸上競技場	小・中・一般	8月号
ミニテニス	9/25	市民の森ふれあいホール	一般	8月号
グラウンド・ゴルフ	9/25 *9/28	浅川スポーツ公園G	一般	8月号
バスケットボール一般	10/1~11/6	市民の森ふれあいホール、市内企業体育館	一般	8月号
ソフトテニス(ダブルス)	10/2 *10/9	多摩平第一公園テニスコート、二中テニスコート	小・中・一般	8月号

競技大会名	大会開催日(予定)	会場 G=グラウンド	対象	広報掲載号
バレーボール一般	10/2	南平体育館	一般	9月号
剣道	10/9	南平体育館	小・中	9月号
弓道	10/10	南平体育館	小・中・一般	9月号
硬式卓球	10/15	市民の森ふれあいホール	小・中・高・一般	9月号
バレーボール家庭婦人	10/16	南平体育館	家庭婦人	9月号
柔道	10/16	市民の森ふれあいホール	小・中	8月号
武術太極拳	10/22	市民の森ふれあいホール	一般	10月号
硬式テニス(シングルス)	10/30~12/4	多摩第一公園テニスコート、他	小・中・一般・高校男女	9月号
インディアカ	11/6	南平体育館	中・一般	10月号
空手道	11/23	市民の森ふれあいホール	小・中・一般・その他(幼児)	10月号
バドミントン一般ダブルス	11/27	南平体育館	一般	11月号
ロードレース	12/3	浅川スポーツ公園G・浅川周回コース	小・中・一般	11月号
バドミントン中学生ダブルス	12/3	南平体育館	中学生	11月号
少林寺拳法	12/4	市民の森ふれあいホール(多目的ルーム)	小・中・一般・その他(大学生)	10月号
スキー(教室)	R5/1月~2月	菅平高原スキー場	一般	12月号
ビーチボール	R5/2/19	南平体育館	一般・小・中	R5/1月号
ミニバスケットボール小学生	R5/2/23・26	市民の森ふれあいホール	小学生	R5/1月号
ボクシング	R5/2月	未定	小・中・一般	未定

(公財)東京都体育協会

○生涯スポーツ功労賞

日野市テコンドー協会会長
(社)日野市体育協会運営委員



関本 義教

この度、
日野市体育協会の
推薦を頂き、
5月8日都

民大会開会式の式典において、(公財)東京都体育協会より令和4年度「生涯スポーツ功労賞」を賜りました。この賞は地域団体・競技団体の推薦でそれぞれ44名、18名の計62名、生涯スポーツ優良団体は39団体、11団体の計50団体が受賞されました。

日野市では、ジュニア育成・シニアスポーツ振興に取り組んでいます。今回の賞を励みにして、市の行事等に積極的に参加していきたいと思っております。

ありがとうございます。

○生涯スポーツ優良団体
日野市少林寺拳法連盟



表彰

市町村体育協会連合会

○特別功労表彰

日野市スキー連盟理事長
(社)日野市体育協会副会長



伊藤 幸夫

東京都町村体育協会連合会理事として、

月まで11年間務めさせて頂きました。

この間、各市町村の関係団体役員の方々と友好的関係を築き、日野市体協からの推薦理事として無事役目を果たすことが出来ました。これも日野市体協の役員を始め会員の方々のご支援のお陰と心よりお礼申し上げます。

最近では、スポーツイベントに対する熱中症、新型コロナウイルス感染症対応等、健康に對することが多く報道されており、皆様方は健康に留意し、体協発展の為、ご協力頂きたいと思っております。

私も今までの経験を基にして微力ながら協力して参ります。今回の特別功労表彰受賞に当り、心から感謝申し上げます。

○体育功労賞

日野市少林寺拳法連盟会長
(社)日野市体育協会運営委員



北島 季彦

この度、
東京都町村連合会より体育功労賞を賜りま

した。誠に有難うございます。これも偏に、日野市体育協会会長始め、皆様のご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

令和2年より、コロナウイルス感染症によって大小、様々な大会が延期・自粛と、思うように活動ができませんでした。人々の願いや、協力も力となり、今春を迎える季節から、コロナウイルス感染症も減少し、活動範囲も緩和される様になりました。日常生活等無意識に汗を流せる事に感謝し、心に油断する事なく、感染症対策の徹底に努め、日野市体育協会の目指している、日野市民の健康増進、青少年の健全育成に微力ながら尽力していく所存です。

引き続き、日野市体育協会及び関係者の皆様のご理解と、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶

日野市産業スポーツ部
文化スポーツ課 課長



木暮 博

令和4年4月1日より、文化スポーツ課長に着任いたしました。木暮と申します。どうぞよろしく

お願いいたします。
令和4年度を迎え、新型コロナウイルス感染症は、いまだに先の見通せない状況ではありますが、日野市体育協会の皆様のおかげです。市民のために創意工夫しながら、スポーツの機会を提供して頂いていることに、改めて感謝申し上げます。

「新しい生活様式」を実践し、中長期に渡り感染症対策と向き合う中で、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害が懸念されています。一方で、スポーツの喪失・制限により様々な影響が顕在化したことで、スポーツが日頃、私たちの生活や社会に活力を与えるなど、優れた効果を及ぼす重要な価値を持つことが改めて示されました。

日野市としても、多くの市民の皆様が新しい環境において楽しく、健康的にスポーツに取り組めるよう努めてまいります。

さて、持続可能な社会や共生社会の実現など、様々な社会的課題について、スポーツを通じて解決するような取り組みが始まりつつあります。スポーツには人を健康にするだけでなく、社会を良い方向に変える「力」があります。令和4年度は第2次日野市スポーツ推進計画を策定します。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを「どのように残すのか」後世に向けて活用できるものを、ぜひ皆様と議論しながら、計画に位置付けていきたいと考えています。

結びに、日野市体育協会の益々の発展と、会員、関係者の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

加盟団体紹介

①団体創立 ②体協加盟 ③現在会長名

日野市アーチェリー協会

①昭和48年1月1日 ②昭和48年5月1日 ③山田 孝紘

日野市アーチェリー協会も来年はいよいよ創立50年を迎えることとなりますが、本年4月から新装成った南平体育館の利用が可能となり、活動に弾みがついてきています。

コロナ禍の影響もありましたが、主として南平建替え中の練習場の不備により、10年前から開始された少年会員制も丸2年間の中断を余儀なくされ、成年会員の拡充も停滞していました。この中において可能な限りの行事の実施を心がけ、10年来継続してきたジュニアやシニアの初心者講習会の他、例年と変らず日野市民体育大会や秋季競技会などを開催できたのは全協会員の努力の賜物です。

さてアーチェリー競技については、既にある程度の知識をお持ちと思いますが、簡単に申せば、「弓で矢を放ち的を射て得点を競う」競技です。なお、パラリンピックでもご覧のように、身体に余程大きな障害の無い限り、また通常の運動能力があれば、老若男女を問わず容易に競技を行うことができます。

実際に本年4月から来場された初心者の方の内訳は60歳以上男女は7名、成年男女10名、少年男女17名で、小学1年生から80歳までの方が受講・教習されています。なお以前から継続している会員は40名、少年会員は未登録者を入れて20名を数えます。

勿論、国体やオリンピックに出場するまでの選手にはなかなか成れません。が、最初の説明を聞いて矢を射るまでに2時間程、その後半年から1年ほど通常の練習を続ければ、市民体育大会や近隣の非公認試合等に出られるレベルに達することもできます。

アーチェリー競技は的と自分だけが相手の全くの個人競技ですから、自身の体調、都合に合わせての練習が可能で、少年であれば、集中力の向上や姿勢保全などに効果があると言われてはいます。シニア層には的的中の時の純粹な喜び・爽快感が長寿全うに効力ありとか、是非一度お試し下さい。

(松村)



3. 空手道体験教室を通じて、空手道はわが国固有の文化であることを理解する。

以上3点を児童に分かり易く伝える為に、日野市教育委員会、全日本空手道連盟の強力なサポートを頂き、連盟の講師陣はしっかりと準備をして授業に臨んでいきます。

この事業をやり抜くことで、講師陣は大きく成長すると思えます。

そして、この事業を通じて、教育委員会、各学校、児童、との信頼関係を構築したいと思っています。

政府は「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の中で生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築する」という観点に立ち、学校と地域が協働・融合する部活動の在り方を提言しています。

今後、日野市空手道連盟は地域における学校部活動の受け皿になるように努力をしていきたいと思えます。

(日野)



日野市空手道連盟

①昭和45年4月1日 ②昭和52年4月1日 ③日野 正剛

1. 日野市は東京国体において、空手道大会の開催地であること、また東京オリンピック2020大会においてウクライナ選手団がキャンプ地として訪れたことを知ることで空手道に親しみをもつ。

2. 空手道体験教室を通じて、空手道はわが国固有の文化であることを理解する。

日野市空手道連盟は今年で創立52年になりますが、コロナの影響で創立50周年行事を行う事は出来ませんでした。

2020東京オリンピックでは、日野市はウクライナの空手チームのホストタウンを務めました。合宿は2回行われ沢山の市民の方に応援見学や合同稽古に参加して頂き交流を深めました。

その間に食の文化交流、音楽の交流が行われました。さらにウクライナとの人事交流も計画されていましたが、ロシアによる突然のウクライナ侵攻が起こりそれぞれどころでは無くなりました。

早く戦争が終わり平和な日常生活が取り戻される事を祈ってやみません。

日野市では、令和4年度から、市立17校全小学校で「空手道体験授業」が行われています。

連盟にとって小学校で授業を行う事は初めてのことです。

教育委員会から与えられた3つの目的

ソフトボール連盟

①昭和57年4月1日 ②昭和57年4月1日 ③小峯 勉

現在、日野市の協力により市役所の隣にある実践女子学園グラウンドを使用させていただき年度予定を実施しています。

このグラウンドは人工芝で非常に綺麗なグラウンドです。

現在の連盟はソフトボールを競技スポーツ、レクリエーションと老若男女が心から楽しめる大会を考慮しています。昨今の世の中はコロナや社会情勢の不安定が続いていますが、週1回の日曜健康な体と健全な精神を養って頂きたいと思っています。

(潮田)



ソフトボール連盟は「全員で決め、全員で実行、全員で楽しむ大会にしよう」をスローガンに活動しています。

先ず、ソフトボール連盟の沿革ですが、昭和56年までは市内に2つの団体があり、競い合いますが活動していませんが、関係者の話し合いで昭和57年に統合を図り「日野市ソフトボール連盟」として発足し、今年で創立40年を迎えようとしています。

ソフトボールは野球より一回りコンパクトで野球とは違う2つの利点があります。

先ずは老若男女向きでボールによっては素手でも出来るます。もう一つは競技としてオリンピックでも女子チームが活躍したようにスピードが求められます。

我が連盟も競技として市内大会を経て東京都大会・関東大会・全国大会とチームを送り出していきます。特に関東大会では3回出場して準優勝・3位・優勝と日野市ここにありと名を上げました。しかしここ数年チームが減りどうしたら良いか暗中模索中です。

常陸大宮市 都市間交流事業



新型コロナウイルス感染症拡大により2年中断しておりましたミニバスケットボールによる交流会は6月26日(日)に常陸大宮市で実施しました。

日野市ミニバスケットボール連盟のご協力により、小学生のバスケットボールチーム(男女各1チーム)を編成して戴き、役員、保護者52名が(コロナ感染防止の為)バス2台に分乗して朝6時10分に出発しました。

途中休憩を挟んで、9時30分に常陸大宮市(西部総合公園体育館)に到着し、開会式、交流試合、交流レクリエーション、等を行いました。



(事務局)

交流試合は各クォーター5分とし、選手交代の制限なし、延長戦無という方法で行い、男子・女子共に日野市が勝利しました。

午後3時に常陸大宮市の会場を出発し、6時15分に日野市へ到着して事業は終了しました。

11月20日には日野市にお迎えして、市民の森ふれあいホールで行います。

ご支援をお願い致します。

19世紀から使用されるようになった『スポーツ』という言葉は英語ですが、その語源はラテン語の「deportare」(デポルターレ)であり、日々の生活から離れることで、気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶなどを意味しています。日本には「スポーツ」という言葉は、明治の開国時に伝来し、大正時代に一般に広まりました。心身共にリフレッシュしたいときには、ぜひこの語源を思い出して、上手、下手、勝敗などを気にせずに、体を動かすこと自体を楽しみにスポーツをしてほしいと思います。暑い夏、スポーツをして、みんなで元気に乗り切りましょう。

編集後記

(広報部長 小林 真理)



平成28年から日野市の陸上競技の技術力向上を図るため中学生を対象に中・長距離及び短距離の強化指導を行い中央大会において上位成績を収めることを目標として実施しています。

指導は年間20回を目標に、土曜日の夕方に集まり、男子と女子に分かれて、高校の陸上部顧問の先生に協力を戴きながら実施しています。

初年度は、参加人数が少なかったりしましたが、走るのが好きな生徒が集まり何とか3月まで強化練習を実施することが出来ました。結果も東京都中学校ロードレース大会で数名が入賞することが出来ました。

2年目も1年目と同様に強化練習会を実施して成果を出すことができました。短距離で日野一中の小俣彩音さんが100mで関東大会に出場することが出来ました。また、日野二中の田畑隼君が第48回ジュニアオリンピックク100mで8位入賞することができました。

3年目の強化練習会では日野四

3年目の強化練習会では日野四

日野市陸上競技協会会長

川村 文夫

中の廣尾七海さんが東日本女子駅伝に東京都代表に選出されて東京都の優勝に貢献しました。また、都道府県駅伝にも選出されて活躍しました(全国9位)。廣尾さんは1年目から強化練習会に参加して着実に実力をつけました。

4年目で東京都が主催する東京駅伝で日野市は、男子が50チーム中5位、女子が50チーム中13位、と記録を更新することができました。短距離では日野二中の古川謙信君が第46回全日本中学校陸上大会に100mで出場することが出来ました。

5年目は新型コロナウイルス感染症防止等の影響で8月22日が初めての強化練習会になり、3月まで11回の練習しか実施できませんでした。

6年目もコロナ禍の影響で17回の練習しかできませんでしたが、日野四中の臼井瑠花さんが都道府県駅伝に東京都代表に選出されて活躍しました。

今年で7年目を迎えますが、指導体制、指導内容など打ち合わせを実施しながら効率的に指導を行い、トップアスリートの育成をして行きたいと思えます。引き続きご支援をお願い致します。

トップアスリート育成—中学生陸上競技強化練習会—

◆◆今後の予定◆◆

- 8月6日 市町村総合体育大会閉会式
- 8月5日 市民生涯スポーツ大会
- 9月2日 第3回理事会
- 9月6日 第3回運営委員会
- 9月5日 都民スポレクふれあい大会
- 10月10日 市民スポレクフェスティバル
- 10月16日 NHK特別巡回ラジオ体操
- 11月2日 第2回広報部会
- 11月3日 日野市表彰式
- 11月20日 常陸大宮市都市間交流事業
- 11月25日 第4回理事会
- 11月29日 第4回運営委員会
- 1月1日 「体協だよりひの」第60号発行
- 1月14日 シニアスポーツ体験フェスタ
- 1月28・29日 体協研修会
- 2月11日 ジュニア育成指導者講習会
- 2月22日 第5回理事会
- 2月27日 第5回運営委員会
- 3月4・5日 指導者講習会(救急法)

*詳細は体協事務局まで